

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は2014年度日本陸上競技連盟規則及び日本マスターズ陸上競技連合規則を準用して行う。

2. 招集について

- (1)トラック競技はそれぞれのスタート地点で、競技開始15分前に開始し、10分前に終了する。
- (2)フィールド競技は各競技場所付近で、競技開始30分前に開始し、20分前に終了する。
- (3)招集に遅れた競技者は棄権とみなし出場を認めない。
但し、同時刻に他の競技に出場している者は、予めその旨を審判員に申し出ておくこと。

3. 競技について

(1)トラック競技

- ①スタートの合図は英語とする。「On Your Marks」・「Set」
- ②トラックレースは全てタイムレースとし、順位を決定する。
- ③短距離走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走る。
- ④トラック種目とフィールド種目を兼ねる者は、トラック種目を優先とする。但し、その場合は必ずフィールド審判員に申し出て許可を受けること。

(2)フィールド競技

- ①走高跳・棒高跳を除くフィールド競技の試技は4回とする。

(3)その他

競技会での傷害は、応急処置のみで、以後の責任はもたない。

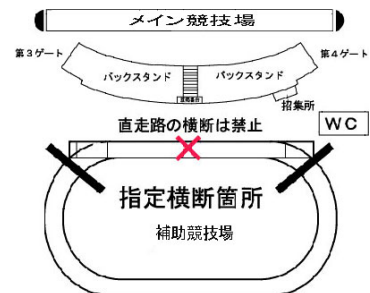
4. 表彰について

- (1)各クラス種目別に1位にメダル、1～3位には賞状を授与する。
入賞した者は必ず、受付にて賞状を受け取ること。表彰式はありません。
- (2)県外参加者はオープン参加とする。

5. 練習場について

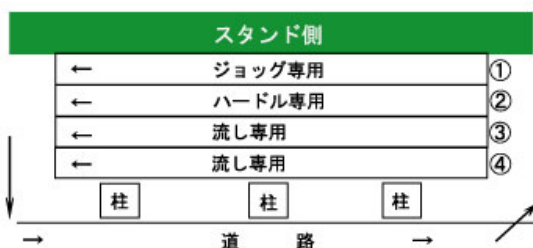
(1)補助競技場での練習は下記の注意を厳守のこと。

- 衝突事故防止の為、直走路の横断は禁止する。(曲走路より横断のこと)
- ジョッグ及びウォーキングは、フィールド内の芝生を使用し、走路を使用しない。
- 内側の1・2レーンは、長距離のペース走専用とする。
- 内側の3～6レーンは、流し等の専用とする。
- 外側の7・8レーンはハードル専用とする。
- 跳躍種目の練習は競技開始前にピットで行う。
- 投てき種目の練習は禁止する。
- 走路及びピットに立ち止まっての指導等をしてはいけない。
- 走路は左回りとし、逆走は禁止する。
- その他審判員の指示に従う。



雨天練習場について

- (1)内側の①レーンは、衝突事故防止の為、ジョッグ専用とする。
- (2)内側の②レーン目をハードル専用とし、外側の③④レーンは、流し等の専用とする。
- (3)走路の横断は禁止する。スタンド及びサブトラックへの移動は、走路に沿って移動し、招集所及び第2ゲート付近から横断をする。
- (4)スターティングブロックの設置は禁止する。
- (5)オールウェザー一部分をチームのベンチにすることを禁止する。



6. <マスターズ基準>

クラス	種目	高さ	間隔	1 台目ま で	ゴールまで	台数
M30 M35 M40 M45	110mJH	99.1cm	9.14m	13.72m	14.02m	10
M50 M55	100mH	91.4cm	8.50m	13.00m	10.50m	10
M60 M65	100mH	84.0cm	8.00m	12.00m	16.00m	10
M70 M75	80mH	76.2cm	7.00m	12.00m	19.00m	8
M80 以上	80mH	68.6cm	7.00m	12.00m	19.00m	8
W25 W30 W35	100mH	84.0cm	8.50m	13.00m	10.50m	10
W40 W45	80mH	76.2cm	8.00m	12.00m	12.00m	8
W50 W55	80mH	76.2cm	7.00m	12.00m	19.00m	8
W60 以上	80mH	68.6cm	7.00m	12.00m	19.00m	8
クラス		砲丸・ハンマー		円盤		やり
男子	M30 M35 M40 M45	7.26kg		2.00kg		800g
	M50 M55	6.00kg		1.50kg		700g
	M60 M65	5.00kg		1.00kg		600g
	M70 M75	4.00kg		1.00kg		500g
	M80 以上	3.00kg		1.00kg		400g
女子	W25 W30 W35 W40 W45	4.00kg		1.00kg		600g
	W50 W55	3.00kg		1.00kg		500g
	W60 W65 W70	3.00kg		1.00kg		400g
	W75 以上	2.00kg		0.75kg		400g

7. その他

- 棒高跳用のポール以外の持参の競技用具の使用は認めない。
- 競技用のスパイクピンは9mm 以下とする。ただし、走高跳・やり投げについては 12mm 以下のものを使用すること。
- 選手は、ゴール後本部席前を通らず、スパイクを脱ぎメインスタンド下の中央通路を通り、退場すること。
- 競技場内外ともよごさないように注意し、ごみは各人・チームで必ず持ち帰ること。
- 貴重品は個人の責任において十分に管理すること。